

徳島県のモモ園におけるクビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*)

による被害の実態と成虫の発生状況

○中野昭雄・渡邊崇人・松崎正典

徳島県立農林水産総合技術支援センター

クビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*) は、中国、朝鮮半島、ベトナム北部などに生息する外来種である。国内では 2012 年 7 月に愛知県海部地域のサクラとウメで、2013 年 7 月には埼玉県草加市のサクラで発生が確認され、その後 2015 年には東京都福生市、群馬県館林市、大阪府狭山市でも確認された。本県においても昨年 (2015 年) の 7 月 21 日に板野郡板野町内で発見され、7 月 27 日に病害虫防除所と農林水産省神戸植物防疫所により予備調査を実施したところ、発見場所周辺のモモ園で、本種が原因と考えられる大量のフラスが排出された樹や成虫が確認された。その後、7 月 29 日と 30 日に板野町内と鳴門市西部のモモ園やウメ園等において被害 (フラス発生) 樹と成虫の発生を、さらに 8 月 5 日には同地域内の寺院、神社、学校、公園等に植栽されたサクラ樹も対象に目視調査した。その結果、被害はモモ (スモモ含む) 30 園地、865 樹のうち、17 園地、130 樹とウメ 8 園地等 (学校、寺院内の植栽樹含む)、318 樹のうち、3 園地等、7 樹で確認された。また、サクラでは 54 か所、1,796 樹のうち、9 か所、43 樹で確認された。このようにモモで被害発生園、発生樹が多く、板野町吹田と板野町川端においてその傾向が著しかった。なお、いずれの被害樹もほとんどが老木樹であった。

本年 (2016 年) には、被害の最も著しかった板野町吹田のハウスと露地のモモ園、併せて 3 園を対象に成虫の発生を毎日調査し、確認した個体はすべて捕獲した。その結果、ハウスモモ園 A では、成虫を 6 月 8 日に初確認し、7 月 18 日までの間、計 300 頭を確認、捕獲した。この間で、最も多かったのは 6 月 27 日の雌雄併せて 32 頭であった。次に、ハウスモモ園 B では、6 月 16 日に初確認し、7 月 16 日までの間、計 75 頭を確認、捕獲した。この間で、最も多かったのは 6 月 18 日の雌雄併せて 10 頭であった。最後に、露地モモ園では、6 月 21 日に初確認し、8 月 3 日までの間、計 179 頭を確認、捕獲した。この間で、最も多かったのは 7 月 3 日と 7 月 4 日の雌雄併せて 22 頭であった。何れの園も雄成虫の方が雌成虫よりも期間の前半に羽化個体数の多い傾向が見られた。

本講演では、このような状況を受けて、防除対策について考察する。

Occurrence and Damage of *Aromia bungii* in Peach Orchards in Tokushima Prefecture.

Akio Nakano・Takahito Watanabe・Masanori Matsuzaki

Tokushima Agriculture, Forestry, and Fisheries Technology Support Center